

(2) 多治見看護専門学校

ア要求の趣旨（現状と課題）

(ア) 県立学校として運営していくうえで安全性確保や機能維持は必要不可欠なことであることから、計画的に校舎施設・設備の改修を行う。

イ事業内容

(ア) 概算事業費

・平成30年度	実施設計	2,782千円
・平成31年度	空調設備改修工事（本館棟）	48,661千円
・令和2年度	トイレ改修工事	2,540千円（UD事業分）

(3) 大垣市医師会看護専門学校

ア要求の趣旨（現状と課題）

(ア) 大垣市医師会看護専門学校の空調設備は、昭和53年度に設置され、40年が経過し、経年劣化が著しい。故障により冷暖房施設が利用できなくなると、授業に支障が出るため早急に改修する必要がある。

(イ) 従来から管財課へ営繕要求している給排水設備は、昭和53年度に設置され、40年が経過し、経年劣化が著しいため、早急に改修する必要がある。また、トイレについても、老朽化が激しく、バリアフリー化（和式から洋式等）に併せて、全面改修する必要がある。

イ事業内容

(ア) 概算事業費

・平成31年度	空調設備改修工事实施設計	4,183千円
	外壁改修工事实施設計	4,725千円
・令和2年度	空調設備改修工事（債務 R2-R3）	0千円
	（事務費）	192千円
	外壁改修工事	44,196千円
・令和3年度	トイレ及び配管改修工事实施設計	6,605千円
	空調設備改修工事（債務 R2-R3）	84,420千円
	（事務費）	192千円
	トイレ及び配管改修工事	76,409千円
	仮設トイレ設置費	4,000千円

(4) 下呂看護専門学校

ア要求の趣旨（現状と課題）

(ア) 下呂看護専門学校の校舎、寄宿舎の冷暖房設備は昭和59年の建築後35年を経過し老朽化が進んでおり、寄宿舎内には冷暖房が効かない部屋もある。H28年度の冬には一時的に学校全体の冷暖房がまったく作動しなくなったこともあるなど、早急に更新が必要である。

イ事業内容

(ア) 概算事業費

・平成31年度	内線機器等更新工事	1,950千円
	中央監視装置修繕工事	8,018千円
・令和2年度	空調設備改修工事実施設計	5,504千円
・令和3年度	空調設備改修工事	115,975千円

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	233	
消耗品費	100	
燃料費	200	
役務費	300	
委託料	4,601	
工事請負費	275,562	
合計	280,996	

決定額の考え方

所要額を精査し計上します。

財源については県債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○県有施設中長期保全計画

- ・2018年度：衛生専門学校南校舎における上記工事
：多治見看護専門学校空調設備改修にかかる実施設計
- ・2019年度：衛生専門学校北校舎における上記工事
：多治見看護専門学校空調設備改修工事
：下呂看護専門学校内線機器更新等工事ほか
：大垣市医師会看護専門学校における空調設備改修及び外壁改修にかかる実施設計
- ・2020年度：衛生専門学校受変電設備改修工事
：多治見看護専門学校トイレ改修工事
：大垣市医師会空調設備改修工事（債務工事 R2-R3）、外壁改修工事、トイレ及び配管改修工事実施設計
：下呂看護専門学校空調設備改修工事実施設計
- ・2021年度：大垣市医師会空調設備改修工事（債務工事 R2-R3）、トイレ及び配管改修工事
：下呂看護専門学校空調設備改修工事

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 看護師等養成所の営繕工事等を実施することにより、利用者に安全・安心な修学・執務環境を提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

営繕工事等が必要な状況となった場合に事業実施するため指標は設定しない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 R 1 年度は、衛生専門学校において、受変電設備改修の実施設計を実施し、多治見看護専門学校において、空調設備の改修工事（本館棟）を実施し、下呂看護専門学校においては、中央監視装置修繕工事等を実施し、大垣市医師会看護専門学校においては、空調設備改修工事、外壁改修工事の実施設計を実施しました。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 改修工事等の実施により、学生、来校者等の安全確保が図られる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	看護師等養成所利用者の安全・安心な教育環境を確保するため、営繕工事等の実施が必要となる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	これまでの営繕工事等により、看護師等養成所利用者の安全・安心な教育環境の実現が図られた。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	営繕工事等の実施検討にあたっては、庁内関係課と連携を行い、適切で効率的な実施方法を適用している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 看護師等養成所は、主な建物が建築から30年以上が経過しており、今後も営繕工事等の対応が必要となっている。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 必要な営繕工事について、早めの対応により計画的な実施を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	